

石川県立図書館 屋内広場

石川県金沢市小立野2丁目43番1号

2026

2.14(土) — 2.27(金)

9:00～21:00 (土日祝は18:00まで)

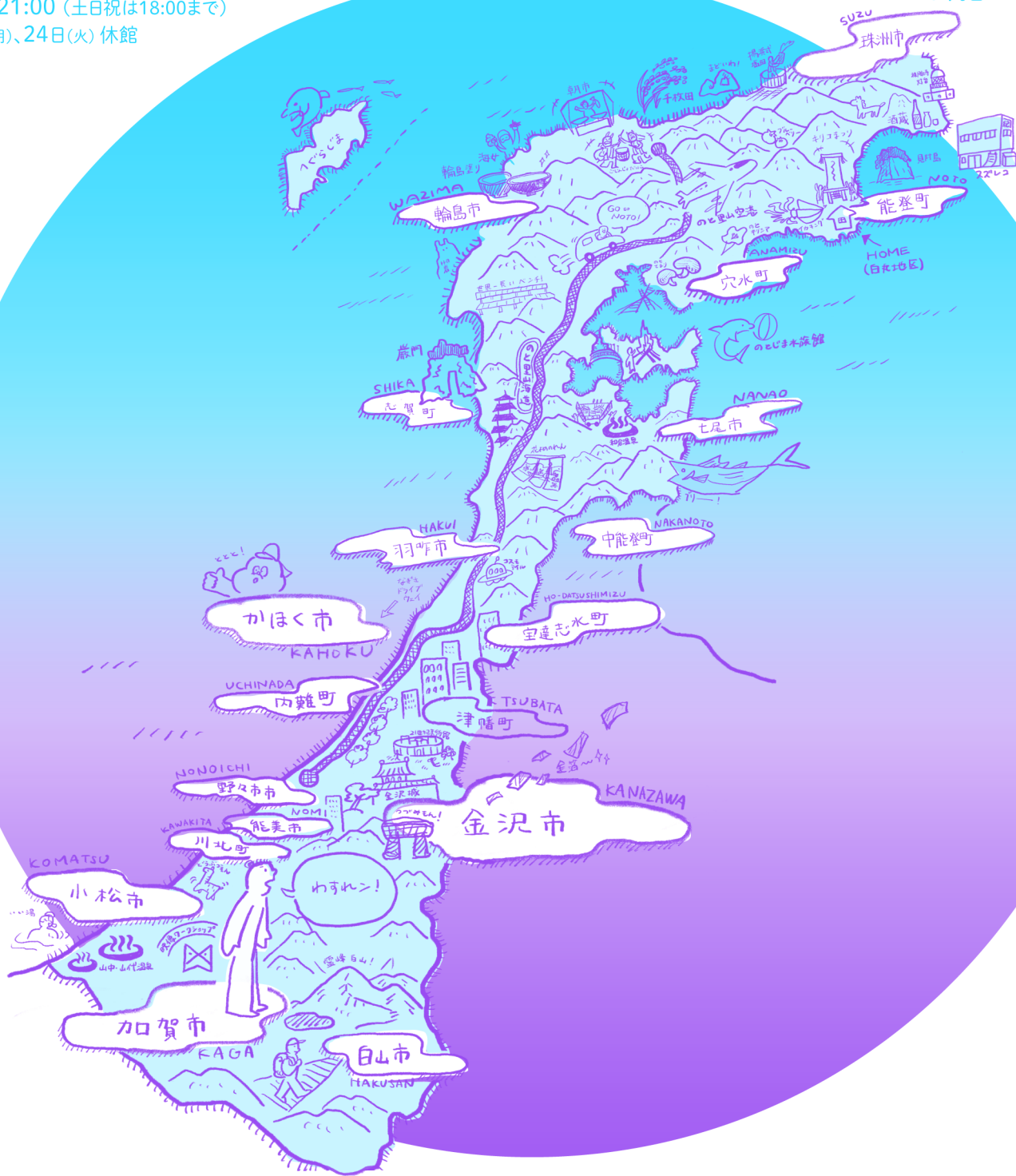
※16日(月)、24日(火) 休館

同時開催：読売新聞

「能登地震報道写真展」

入場無料

お問合せ：info@eizo.ws



# わすれん! vol.2

記録活動ミーティング 能登から／能登へ

主催：わすれん！記録活動ミーティング2 実行委員会（事務局：スズレコードセンター、映像ワークショップ合同会社）、石川県立図書館

協力：NPO 法人remo / 記録と表現とメディアのための組織、金沢美術工芸大学有志

＊本事業は「能登アーカイブリンク～震災の記憶を未来へつなぐ市民参加型アーカイブ～」として、公益財団法人ほくりくみらい基金による「のこす・つたえる・つながる助成 supported by LINE ヤフー」の助成を受けて実施しています。

イラスト：坂口歩(MEDIUM 掲載マップ 記録活動ミーティングバージョン)(2026)

## 震災後の記録活動を記録する

2024年1月1日に能登半島地震が発生し、同年9月には豪雨災害が起きました。復興に向けたさまざまな動きがある中、市民一人ひとりの手で写真や映像、言葉などのメディアを使いながら現地の今を記録・発信する動きが立ち上がり、継続されています。

昨年3月、「星空と路—3がつ11にちをわすれないために—」(せんだいメディアテーク、宮城)の関連企画として、能登半島地震にまつわる記録活動を紹介する「わすれん! 記録活動ミーティング—能登から／能登へ—」を開催。本イベントはその続編です。記録活動はその後にも新たに生まれ、担い手も増え、展示もボリュームアップします。また、来場者の記憶を記録する試みとして、わすれん! によるインタビューシートの能登半島地震バージョンも設置します。



2025年3月の展示風景(撮影:越後谷出)



わすれん! インタビューシート

## フォーラム「能登での記録活動を考える」

記録活動の担い手による活動紹介や有識者によるトークセッションを行います。

休憩あり / 出入り自由

詳細はこちら



日時 2026年2月15日(日) 13:00～17:00

会場 石川県立図書館 だんだん広場

参加無料

申込不要

定員140名

### ○第1部 13:00～14:30 「担い手たちの活動を知る」

各地の担い手の活動は実に多様です。それぞれにどのような動機で、どのようなことを記録しているのでしょうか。担い手のみなさんにご登壇いただき、ご自身で紹介いただけます。

登壇：展示に参加している個人・団体

### ○第2部 15:00～17:00 「活動の意味を考える」

これらのような報道とは異なる市井の人々による「記録する行為」には、どのような社会的な意味があるのでしょうか。有識者を招き、担い手のみなさんとともに考えます。

登壇：川村清志(国立歴史民俗博物館准教授)／田村俊作(石川県立図書館館長)／永井三岐子(ほくりくみらい基金代表理事)／羽生田文登(一般社団法人 Code for Noto 代表理事)／明貫紘子(映像ワークショップ合同会社代表)

モデレーター：吉見俊哉(國學院大学観光まちづくり学部教授)

#### 展示参加団体

※五十音順／1月16日時点／フォーラムへの登壇は未定

秋山祐貴子《輪島便り～星空を見上げながら～》《輪島讃歌》／浅田政志×写真部 FOCUS《能登、ひとおし。》／阿部修一郎《珠洲にて、うつろう風景とつづく日々の映像記録》／阿部充紘《the road you've been to (仮)》／合同会社 AMANE／有馬尚史《震災から復興まで珠洲の映像記録を10年撮る》／映像ワークショップ合同会社《災害ユートピアから学ぶ過疎地のコミュニティ》《災害コミュニティ・アーカイブかほく：断水》／大伏仙泰《トレーシング・スズーストリートビューが重ねた時間・見附島に映る復興》／岡田有紀《能登ととプロジェクト》／鹿野桃香《『地震日記 能登半島地震発災から五日間の記録』の朗読活動》／仮( )《新谷健太・楓大海》／仮(葬)-kari(sou)-／河崎国幸《能登半島地震発生直後からの手記》／川田創士《一般社団法人 Code for Noto》／西海一紗／坂口歩《MEDIUM》／スズレコードセンター／株式会社 TYO 事業開発本部 Third《能登アーカイブプロジェクト》／辺本良治《内灘町の被害状況図記》《内灘町北部の解体状況図》／一般社団法人能登里海教育研究所《災害復興デジタルアーカイブのと・きろくとまなびと》／能登・一般社団法人 志賀町観光協会《復興物語～スマホの記録～》／のと部／noto records／橋本貴雄《珠洲市大谷地区を中心とした写真と映像の記録》／本多美優《のと部金沢》《古材レスキューファイルプロジェクト》《のとがたりソウゾウ影絵》／松田咲香《本町ステーション》／一般社団法人まなざしのアーカイブ(三好大輔・小町谷健彦)／みききする能登(浅見風)《能登「あれから1年」展》《宝立かるた》《珠洲と個人的に関わることについて(DIY/ 建築)》／吉岡栄一《The Road to Recovery》ほか

## わすれん!とは

せんだいメディアテーク(宮城)が東日本大震災という大きな出来事に対し、ともに向き合い考えるために開設した「3がつ11にちをわすれないためにセンター」(略称: わすれん!)のこと。わすれん!を拠点に、市民、専門家、アーティストなどさまざまな立場の人びとがともに震災にまつわる事柄を記録し、発信しています。

石川県立図書館  
Ishikawa Prefectural Library

百万石  
ビブリア  
バウム

〒920-0942 金沢市小立野2丁目43番1号  
Tel 076-223-9565・Fax 076-223-9566  
E-mail: library@pref.ishikawa.lg.jp

【駐車場】400台／入庫後30分無料、以降30分ごとに100円。図書館利用者は駐車料割引機での手続きにより3時間無料。

※周辺道路は混雑が予想されます。ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。

